

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要

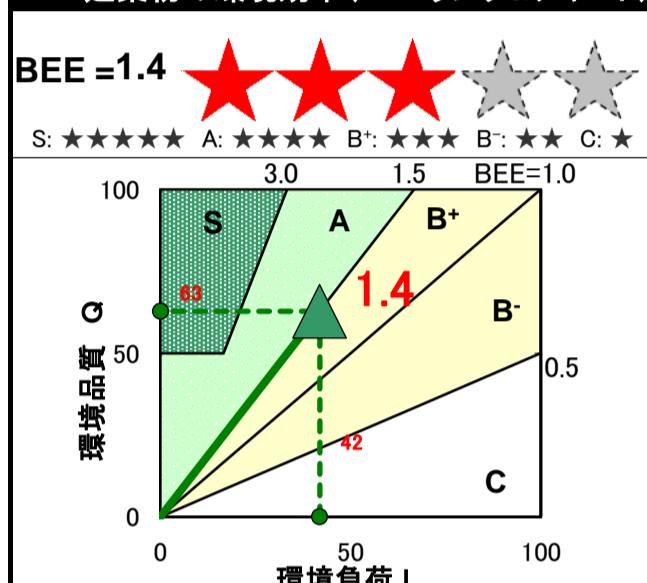
建物名称	(仮称)海老名市大谷D3街区新築工事
建設地	神奈川県海老名市大谷64-1
用途地域	近隣商業地域、準防火地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅,
竣工年	2028年11月 予定
敷地面積	3,801 m ²
建築面積	1,261 m ²
延床面積	8,261 m ²

階数	地上9F
構造	RC造
平均居住人員	392 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	基本設計段階評価
評価の実施日	2025年1月8日
作成者	(株)長谷工コーポレーション
確認日	2025年1月8日
確認者	(株)長谷工コーポレーション

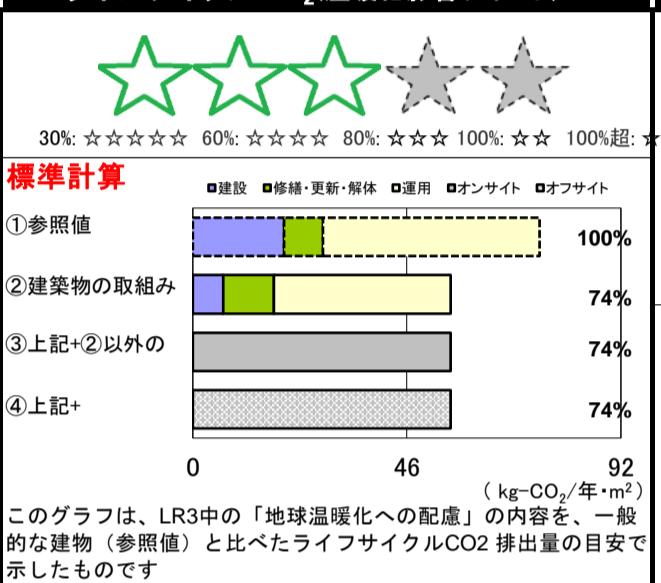
1-2 外観



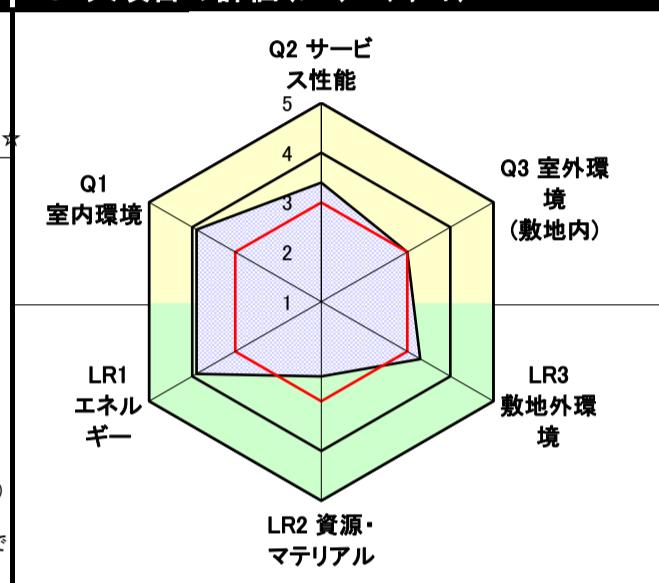
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



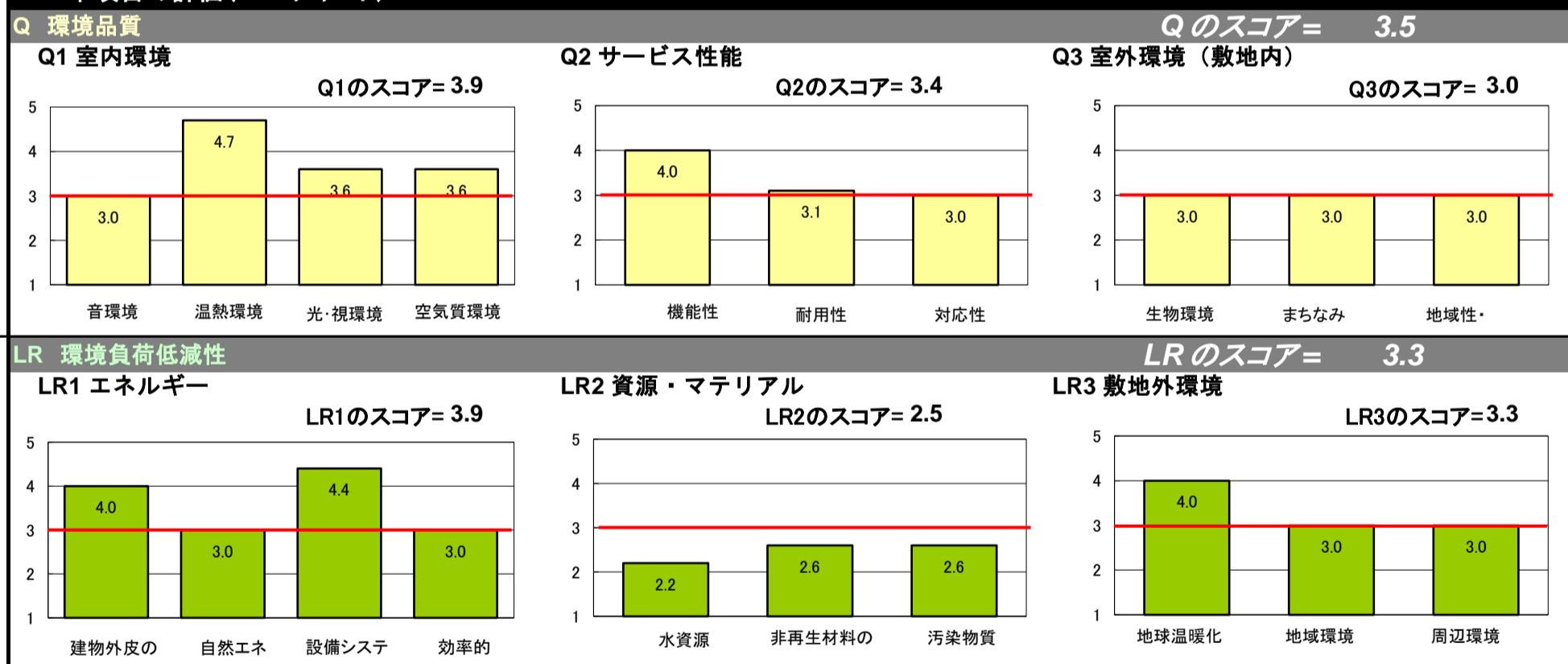
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合

住棟を南向き及び東向きとして計画し、可能な限り道路よりセットバックすることで圧迫感を軽減した。
アースカラーを基調とし街並みとの調和に配慮した。

その他

特になし

Q1 室内環境

- BELS認証取得予定につきUA値0.6以下、住棟全体のBEI値0.8以下。
- 住戸には庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置。
- F★★☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。

Q2 サービス性能

- 主要内装仕上げ材及び空調・給排水管について、更新必要間隔が優れたものを採用している。
- 入居者が多目的に利用できる集会室を共用施設として計画。

Q3 室外環境 (敷地内)

- 周辺環境に配慮した建物配置・外観デザインとし、景観創出に努めた。
- 敷地内は可能な限り緑化に努め、潤いある環境を創出するとともに環境負荷低減に務めた。

LR1 エネルギー

- 断熱等性能をZEH-M Oriented基準に適合するものとした。

LR2 資源・マテリアル

- 躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。

LR3 敷地外環境

- 自治体の緑化基準を上回る緑化に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される